

## テーマ：義歯安定剤の簡便な除去法

### ■ 背景

- ・義歯安定剤は「維持、安定のために不良な義歯の機能改善を目的として患者自身によって用いられる市販材料」と定義されている。義歯はフィットするように歯科で調整してもらうのが原則だが、どうしても義歯があわない場合は、患者は安定剤を使用することになる。患者側は、食べ物をしっかりかみたいということだけでなく、歯が浮くと顔つきが変わる、口元を気にせず会話したい、など生活の質に関するニーズは多様である。
- ・義歯使用者のうち約30%が義歯安定剤を使用していると報告されている。義歯安定剤は様々な種類の製品が市販されているため、歯科医師・歯科衛生士は口腔ケアの際、その除去に大変な苦勞を強いられている(製品ごとに特性が異なるため)。



<出典：看護root!>

### ■ 現状の対処法

- ・時間をかけて、歯科医師や歯科衛生士が安定剤を丁寧に取り除く作業をしている。

現状の入れ歯安定剤



- ・全部取り除くには時間がかかる
- ・細かなカスが取り除き切れているか不明

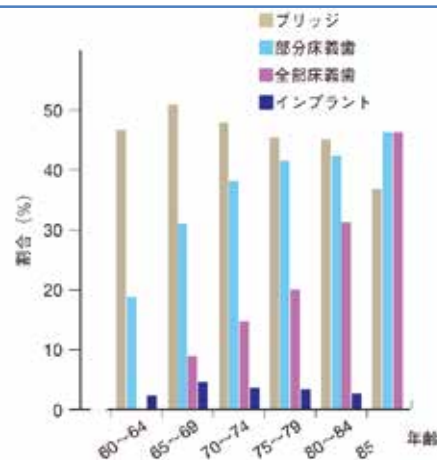
### 機能アイデア例

- ・直ぐにはがせる安定剤(素材)
- ・後からはがす機能素材
- ・繰り返し利用できる機能が推定できる機能

### ■ 市場性

粉末タイプ、クリームタイプ、テープタイプなど市販されているが、成分はカラヤガムやカルボキシルメチルセルロースなどの水膨潤性の水溶性高分子化合物が共通して用いられている。厚労省の調査によると60歳以上の4人に1人が義歯を使用している(<https://www.mhlw.go.jp/toukei/list/62-17b.html>)。義歯の市場規模は120億円程度と推定されているが、社会の高齢化に伴い義歯および義歯安定剤の使用者は増加することが予想される。

上記の課題は医療機関で共通すると思われる、この課題を解決する方法や機材が開発されれば、採用する医療機関は多いと予想する。



### ■ 歯科口腔外科ホームページ

<https://www.shiga-med.ac.jp/hospital/doc/department/department/dentistry/index.html>